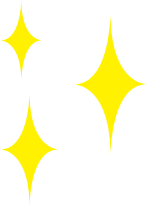




会報

いきいき



IKIKI



植木せん定講習会 = 10月23日～28日・甲斐市西八幡公園（関連記事4ページ）

主な内容 —CONTENTS—

- ▶ 令和元年度 地区会議……………P 2
- ▶ 令和元年度 事故発生状況・防災対策講習会……P 3
- ▶ 植木せん定 他講習事業……………P 4
- ▶ 普及啓発PR活動・職場班……………P 5
- ▶ 会員の紹介（手芸部）……………P 6
- ▶ 活躍する会員の声・甲斐路（ふるさとの民話） P 7
- ▶ 事務局からのお知らせ……………P 8

公益社団法人

峡中広域シルバー人材センター

〒400-0115

山梨県甲斐市篠原2644番地3

Tel 055-279-6626

Fax 055-279-6620

<https://www.kyochu-sjc.jp/>

e-mail: kyochu@sjc.ne.jp

会員数776人(男性529人・女性247人)

—令和2年3月1日現在—

令和元年度 地区会議開催される

自主 自立 共働 共助



事務局の説明に聞き入る出席会員=竜王地区

令和元年度の地区会議が、1月22日の昭和町から2月19日の中央市まで、2市1町の12地区が5会場に分かれて開催されました。
事務局から事業運営状況や事故内容の報告のほか、令和2年度は役員の改選期に当たるため、各地区推薦の会員理事候補者の承認、地域班長や女性部幹事の選出などがあり、会員への理解と協力が要請されました。

この地区会議は、センターの活動状況の報告や会員相互の情報交換の場として、今後の事業運営に活かして行くことを目的に、各地区の理事や班長が中心となって毎

年開催されており、甲斐市は竜王、敷島、双葉の各地区、中央市は玉穂、田富、豊富地区の合同、昭和町は東西合同で開催されました。
会議では、まず事務局から令和元年度のセンター事業の運営状況や、事故の発生状況などについて報告があり、運営状況では、不透明な経済情勢や企業の雇用延長なども背景にあつて、就業開拓、会員拡大とも難しい状況ではありますが、契約実績は、一般家庭を中心に植木剪定や障子・襖の張替え作業の受注の増加、公共・企業においては、民間企業の宿直業務の廃止や契約終了などで依頼や受注



地区推薦の承認を受け出席会員に紹介される次期会員理事の候補者=中央市

額が減少しているとの説明がありました。事故発生状況では、今年度は草刈り作業などでの損害賠償事故が起きており、改めて注意を呼びかけました。
また、新年度に向けての役員改選で、会員理事候補者の地区推薦の承認のほか、地域班長や女性部幹事が選出され、この後、連絡員の紹介や親睦活動などの報告、女性部から講習会への案内がありました。参加した会員は、事務局の説明などに熱心に耳を傾け、「自主・自立」「共働・共助」を基本理念とする会員組織であるので、より一層活発な地区活動が望まれます。

各地区のボランティア活動状況



竜王地区(竜王北小)
環境美化活動



敷島地区(敷島南小)
環境美化活動



双葉地区(双葉東小)
環境美化活動

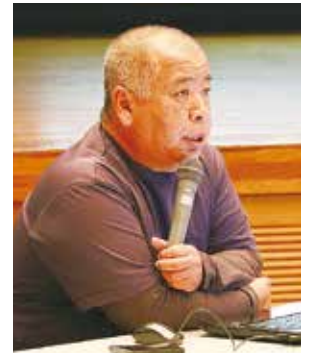


玉穂地区(四季の花公園)
花壇管理作業



豊富地区(作興橋前)
花壇管理作業

防災対策講習会 施設管理就業会員対象に開催



日々の活動から熱心な講義をする講師の山下さん

令和元年11月8日、敷島総合文化会館において、施設管理を受け持っている会員を対象に防災対策講習会を開催しました。

講師には、特定非営利法人・災害・防災ボランティア未来会代表で、国、県、市などの防災危機管理アドバイザーに携わっている山下博史様を招き、地震、台風、大雨、河川の氾濫などについての防災意識の向上に努めたところがあります。災害はいつやってくるかわかりません。そのため、地震に対しては、事前に何が必要か、また、家具については地震により転倒し、下敷きになって死亡した実例の話や写真を通し、いかに事前に転倒防止の準備が必要か、さらに、災害に備えての必需品の準備を普段から心がけておく、家の中の避難通路の事前確認、避難準備情報等による早めの避難などの指導を受けました。また、9月の

台風15号、19号による千葉県の突風被害や河川の決壊による被害状況など、山下講師が現地での災害状況や、ボランティア活動の内容など、実際に起こった状況の写真や活動内容の話などを織り交ぜながら人の命の大切さ、いかに災害に對し、事前に準備しておくかの必要性、普段からの近所における自助・共助がいかに大切かをこの講習会を通し学んだところであり、会員に對しては、各施設における避難誘導、避難通路の確認、消防計画の確認などできることから事前に行う様、指導を受けたところでもあります。この講習会を通し、山下講師から、専門的な目から様々な災害に對しての恐ろしさや、早めの避難、また、自分でもできる対処方法などを聞き、有意義な講習会になりました。



講師の危機迫る講義に耳を傾ける受講者の皆さん

今年度の事故発生状況 ●刈払機による事故再発防止 安全対策の再徹底を！●

令和元年12月までの事故発生状況は、傷害事故1件、賠償事故6件の計7件となっております。

傷害事故では、公園の側溝の土砂の清掃後、ダンプの荷台の上で作業していた所、誤って後ろ向きに落下し救急車で病院に搬送されました。検査の結果、幸い何処も異常は無いとの事でした。この事故については、落下した会員は朝

礼の時から様子がおかしく、ふらついていた。そこで一緒に作業をしていた会員も心配をし、無理をせずに早く帰るようにと促したが、本人は問題ないと判断し、そのまま作業をしていたことによるものです。今後においても、体調が良くない時は無理をせずに周りの意見も聞いて休む時はしっかりと休むことで、安全を第一に心掛け仕事を頑張りましょう。

また、刈払機による事故も3件発生しており、ネット等の安全対策が不十分のため安全委員会で検討し飛散の少ないカルマー（バリカン式刃）の使用徹底等、再発防止に必要な指導を行いました。

令和元年度事故発生状況	
●全国の状況（平成31年4月～令和元年12月）	
重篤事故	就業中 死亡8人 入院4人 就業途上 死亡6人 入院7人
1ヶ月～6ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故	
就業中	153件 植木樹木のせん定等62件、除草作業25件 屋内・屋外清掃作業30件、その他36件
就業途上	52件 徒歩14件、自転車26件、バイク9件 自動車3件
●県内9センターの状況（平成31年4月～令和元年12月）	
重篤事故	0件
傷害事故	23件 墜落・転落2件、転倒9件、 切れ・こすれ2件、交通事故1件 無理な動作1件、蜂刺され3件、その他5件
損害事故	40件 内、刈払機による飛散事故21件
●峡中センターの状況（平成31年4月～令和元年12月）	
重篤事故	0件
傷害事故	1件 荷台からの転落による事故 1件
損害事故	6件 刈払機による窓ガラスの破損 2件 刈払機による配管の損傷 1件 設備の接触による車両の損傷 1件 車両の接触による車両の損傷 1件 ハジトリマー接触による光ケーブル切断 1件
※重篤事故とは死亡あるいは、6ヶ月以上の入院の事故を言う。	

講習事業

技能を習得し日々の仕事へ
植木せん定講習会



講師の指導を受け熱心に取り組む受講者の皆さん
10月23日～28日 甲斐市西八幡公園

女性部幹事を講師に挑戦
時短調理講習会



グループ毎に連携し時短調理に挑戦する受講者の皆さん
11月20日 甲斐市竜王北部公民館

手芸部会員が講師に
クリスマスリース作り講習会

毎年恒例となった女性部の手芸講習会、本年度は12月10日甲斐市竜王 北部公民館で「クリスマスリース作り」を行いました。参加者は手芸部講師も含めて会員24人、一般2人の計26人でした。

今回は、赤と緑の折り紙を使って作ってみました。赤の折り紙でかわいいサンタさんを折り、緑の折り紙で台紙を折り、それらをはめ込み合わせながら丸く作っていきます。1時間程で全員がクリスマスリースを折り上げました。

ちょうどクリスマスMASの時期と重なり仕上がったリースをどこに飾ろうか、各々思いを巡らせながら帰途につきました。



折紙で作ったクリスマスリース



和気あいあいとクリスマスリース作りに取り組む受講者の皆さん
12月10日 甲斐市竜王北部公民館

公共事業
就業説明会・接遇講習会

令和2年度の公共施設での配置について、就業説明会と接遇講習会が開催され、中央市は昨年12月12日と17日の2日間で92人、甲斐市では12月19日と24日で256人の会員が出席しました。

最初に接遇講習として、山田理事から就業上の実体験を交えた接



接遇講習を行う
山田理事

客方法などを学んだ後、担当職員から就業先の具体的な内容や注意点などの説明を受けました。出席した会員は真剣な面持ちで聞き入っていました。

甲斐市会場



12月19日・24日 接遇講習・説明会の様子
甲斐市敷島総合文化会館

中央市会場



12月12日・17日 接遇講習・説明会の様子
中央市玉穂総合会館

PR活動・職場班

中央市ふるさと祭り PR出店

センターでは、普及啓発活動の一環として、自治体開催のお祭りに参加しています。

11月3日、中央市ふるさと祭りに出店、中央市の理事さん4名と女性部・手芸部の代表者を中心とし、PR活動を行いました。

今年度は新しい試みとして、シルバー人材センターの活動をよりよく知っていただこうと、会報『生きいき』の配布をしました。テント近くを歩く来場者にさりげなく声をかけ、明るく笑顔で接する理事さん方の姿が印象的でした。



手芸部による作品の展示コーナー



来場者へ会報生きいきとチラシなどを配布する様子

また、女性会員拡大を目的としたPR活動を視野に入れ、手芸部の皆さんが作られた編み物や小物入れ・クラフトバッグ等の作品の展示をおこないました。華やかに飾られた作品に足を止めてくださる来場者からは、「売り物ではないの?」「売ったらいいのに・・・」等、嬉しいお声もいただきました。

シルバー人材センターは、仕事をする目的だけではなく、生きいきと楽しむ場でもあることを知っていただく、良い機会となったのではないのでしょうか。今後の女性会員の活躍が期待されます。

職場班

イトーヨーカ堂

甲府昭和店

買い物カート及びかご整理班

北海道から兵庫県迄、150余の店舗を展開する「イトーヨーカドー」の1店舗である甲府昭和店では、食品関連業務への派遣他、多数の部門で当センターから40名ほどの会員がお世話になっていきます。

私たちは、「買い物カート及びかごの整理」の部門で、毎日早番・遅番の2名シフトで3日就業し3日休みで8人が携わっており、各自都合の悪い日は、仲間同士で日程調整し仲良く行っております。

毎月第2火曜日に発注先の宮原管理統括マネージャーを交えミー



ミーティングで「接客6大用語」を用いたあいさつの練習を行う会員の様子。

★★ 接客6大用語とは… ★★
「いらっしゃいませ」「はい、かしこまりました」「少々お待ちくださいませ」「申し訳ございません」「ありがとうございました」「またお越しくださいませ」



お客様の目線に立ち、買い物しやすい様に整理・運搬する会員

ティングを行い、お客様からのクレームや感謝の言葉、また日常業務での問題点等の情報共有や意見交換などを行い、発注先との連携や会員同志の意思統一を図っています。お店は、平面・3階・屋上に分かれて1500台の駐車場があり、特に毎月8日・18日・28日は「ハッピーデー」と15日・25日の「シニアナナコデー」また、毎週月・火曜日は「月・火得の市」、その他の日でも県内各地のみならず南信州からも沢山のお客様に来店いただいております。

主に買い物カートの回収ですが、カートの集積所及び車との間に放置されているカートは必ず回収し、所定の場所へ安全を第一に、お客様の利用しやすさを心掛け運んでいます。(小池公昭リーダー会員)

手芸部会員の紹介!!

★毎月第2月曜日、センター会議室で活動しています手芸部会員の作品を紹介します。★
ご興味のある方はお気軽にセンターへご相談下さい。



双葉地区
白須とし子 副部長の作品

①清掃作業・試食販売 ②ベスト（編み物）③皆で楽しく活動しています。



竜王地区
柳沢 洋子 副部長の作品

①施設の清掃 ②セーター（編み物）③楽しい活動なので是非参加下さい。



敷島地区
宮内 春枝 部長の作品

①自分に出来る仕事 ②手と頭を使う身近に置ける小さな作品 ③興味のある方は一緒に活動しませんか？



敷島地区
小林 輝子 会員の作品

①公園管理の仕事（季節の花も楽しめします。）②思い出に残る作品 ③地域・趣味等の違いを越えて楽しく活動しています。



竜王地区
海老塚清子 会員の作品

①②新入会員のため仕事も手芸もこれからです！③活動を通じて家の中でも楽しい時間が過ごせるようになりました。



竜王地区
福地香代子 会員の作品

①施設の受付・清掃 ②ブローチ（編み物）③楽しく活動していますので参加してみませんか？

手芸部の方々からのコメントを紹介!!

- ① 担当(希望)している仕事
- ② チャレンジしたい作品
- ③ 未来の仲間へ一言



田富地区
内藤壽津子 会員の作品

①家事援助 ②お金を掛けないで、廃物利用を心掛けています。③外に出ること、趣味を持つことをお勧めします。



双葉地区
小澤マサエ 会員の作品

①学校業務 ②パッチワーク（靴・座布団カバー）③仲間に指導してくれる方がいると思いますので、よろしくお願ひしたいです。

☆☆ 生き生きと活躍する会員の声 ☆☆

給食配膳と環境整備

田富地区 関 政 男



運ばれてきた給食をクラス毎に配膳を行い、エレクターカートにより移動する会員

現在、シルバー人材センターから派遣されている仕事は、田富北小学校の給食配膳及び環境整備業務をしています。配膳業務内容は午前10時30分より第一便コンテナ食器類のクラス単位での配膳作業です。一年から三年生はエレクターカートに四年から六年生は配膳棚へ置きます。次に牛乳の数量確認及びクラス単位への仕分け作業をおこないます。第二便コンテナ食缶類が到着次第、食器類同様にエレクターカートと配膳棚に仕分けします。12時25分迄に一年から三年生の各クラス分をエレクターカートでクラス毎に教室へ移動し

ます。四年から六年生は12時35分頃から配膳室に取りに來ます。食事終了後、食器・食缶は直接コンテナに収納します。教職員、六年生2人は牛乳の整理整頓に当たり、一年から三年生は担任と共に返却に來ますので、コンテナ収納時の補助を行います。配膳カート、配膳棚、台車等の器具の衛生管理（アルコール消毒等）及び配膳床の清掃等を行います。環境整備業務は7時50分より校舎内の職員室、共有部分等の清掃、整理整頓と学校敷地内（市民プール、体育館含む）の草取り、落葉清掃、花壇の管理、植木の剪定をシルバー会員2名で一週間交替で行っています。これからも健康第一、安全第一で作業を行って行きます。

ワンポイント
シルバーの知恵袋

★ラッキョウ漬け汁の再利用★
「ピクルス」を作ってみよう!!

(写真B) (写真A)

甲斐路

おまかせの甲斐路

(6) 田富地区「粘土節」

釜無川は大昔からの暴れ川でたびたび大洪水となり、特に明治18年の大水は、小井川村や花輪村はもちろんのこと盆地一帯を泥や砂の海にしてしまった。この大洪水の2年後、国は堤防の大改修を行うことになった。

工事に携わったのは、大部分が地元の人々へ割り当てられた義務人足だった。土を入れた籠を天びん棒で担いで運ぶ作業から始められ、重労働なので力のある若者があつた。粘土は竜王村の赤坂や今諏訪村から長い距離をリレー式に運んだ。一方、女性や老人は、

らつきよう漬けを食べて残った漬け汁の再利用法を紹介します。らつきようは便秘予防や疲労回復・血液サラサラ等、様々な効能があります。そんならつきようを食べた後の漬け汁は、らつきよう成分が詰っていて栄養価が高く捨てるには勿体ない。野菜を漬けてピクルスにすると独特の香りも気

になりません。作り方です。①野菜（大根、人参、胡瓜、セロリ等）を好みの大きさに切る（写真A）②鍋に湯を沸かし野菜を順に15秒漬けて水気を切り、ビニール袋の中に入れる。③その中かららつきようの漬け汁を加えて軽く揉み冷めたら冷蔵庫で一晩冷やせばピクルスの完成です。（写真B）

運ばれてきた土を固める作業をした。広い河原で単調な仕事を繰り返しているうち、誰彼なく歌を唄うようになり、唄は自然に粘土打ちと合うようになって、いつの間にか粘土節となつていった。地元の山之神から義務人足に出してきたお高さんは、その頃18歳で大変な器量よしのうえ、甘いつやのある声は、粘土打ち作業とよく調子があつていた。男たちは、お高さんの唄を聞きながら楽しく手を動かしていたので、作業は驚くほどはかどり、また美人のお高さんの唄を聞きたいばかりに大勢集まってきた。このような作業は7年も続ければ、やがて汗と脂の結晶で今日ある立派な堤防が築かれた。

事務局からのお知らせ

会員の皆さん、友人・知人の皆さんをお誘いください!!

「働く意欲のあるシルバーのあなた! 仲間になりませんか?」

活かしましょう!!

その技能、
その知識、
その経験、
そのやる気。



シルバー人材センターは、国や市町からの助成を受けて運営している公益社団法人で、シルバー世代にふさわしい仕事を一般家庭・民間企業・行政などからお引き受けし、会員に就業機会を提供している公共性の高い会員組織です。

甲斐市・中央市・昭和町にお住まいの健康で働く意欲のある60歳以上で、センターの主旨に賛同いただける方なら、だれでも会員になることができます。就業や収入の保証はありませんが、ご自身の希望や能力に応じた働き方ができ現在約760人の会員がいます。

まずは説明会にご参加を

入会するには、まずセンターを理解していただくため「入会説明会」にご参加いただいています。通常、毎月第2・第4水曜日に、

今後の予定

令和2年度定時総会

日時 令和2年5月28日(木)
午後1時30分開会

場所 甲斐市敷島総合文化会館
※開催通知を地域班長・連絡員を通じてお届けします。封筒に入っているハガキ(出欠席の届け出、欠席の場合は議決権行使書か委任状)の提出を必ずお願いします。

グランドゴルフ大会

※これまで、毎年5月の最終水曜日に甲斐市チャレンジデーに合わせて開催しておりましたが、今年度、甲斐市ではチャレンジデーの参加予定が無いため、秋にグランドゴルフ大会を開催する予定であります。

詳しくは別途お知らせします。

センター事務所で行っています。お電話などでお気軽にお申込みください。

こんな仕事をしています

●請負・委任事業

植木剪定、植木消毒、植木の水やり、襖・障子・網戸の張替え、パソコン入力、除草作業、屋内外の清掃、お墓の清掃、ポストイング、施設の管理、ショッピングカートや駐輪場整理、一般事務、家事サービス(掃除・洗濯・アイロン掛け・布団干し・買い物・食事作り・話し相手・通院付添い)・・・など

●派遣事業

一般事務作業、工場内の軽作業、スーパー等での食品関連業務、学校用務、学校給食関連業務、その他雑役作業・・・など

お気軽にお問合せください。

寄稿や情報提供をお待ちしています

シルバー人材センターの広報誌・会報「生きいき」編集委員会では、誌面で紹介したい記事など、広く会員の皆さんからの情報提供をお待ちしています。

●●編集後記●●

私には現在二つの関心事があります。一つは、もうすぐ開催される東京五輪・パラリンピックです。団塊の世代の私には人生二度目となるこの大イベントを心待ちにしています。その為にも、新型肺炎の早期終息を願っています。もう一つは、5年後、団塊世代全員が後期高齢者になる、いわゆる「2025年問題」です。介護が必要になったら誰が看ってくれるのか。子供達には迷惑を掛けたくない。施設や介護スタッフは足りるのか。外国人雇用者もまだまだ。福祉サービスも手いっぱい等々。私達団塊世代は、この難局にどう対処すれば良いのでしょうか。そこで、元気で働く意欲のある人材が集まる当センター、中でも女性会員は大きな役割を期待されています。今号は、不足している女性会員数を増やすべく趣味サークルの手芸部を取り上げました。(興水)

―編集委員―

▽委員長 山田三郎 ▽委員
興水喜久恵・小林一・矢島重男・窪田俊明 ▽事務局 斉藤晴彦・山土井寿彦